

# 「塩を悪者にする現代文明」

認定 NPO 法人メダカの学校：理事長中村陽子氏レポートより抜粋  
(1999年1月-虹 58号誌発表)

- ・塩は「しほ」であり、「し」は水、「ほ」火・生命力を表す。
- ・腸の壁や血液をキレイにすること。
- ・ドイツ人医師が、日本の伝統食が気力体力を作っていると評価したこと
- ・腎臓の塩分排泄能力が1日 42gであること
- ・だ液が 30 秒でガン細胞を駆逐すること
- ・海の塩は草のエキスの結晶であること
- ・その畑に足りないミネラルを作るための植物が生えて土を作ること
- ・海の塩分は、人の欠乏症に効く究極の薬であること
- ・花粉症は、血液の塩分濃度を守るため目汁鼻汁を体外に出していること
- ・感染症は、血液が酸性で塩分とカルシウム欠乏であること
- ・身土不二とは、人の1日の行動範囲である十里四方の食物を摂ると健康に良いこと
- ・人間と地球の構成元素はほぼ同じで、人間は地球の分身であること

さて、「お塩」と聞いて、皆さんはどんなイメージをお持ちですか。  
今迄の常識から言えば大抵の人は、健康に悪いと感じる方が多いでしょう。  
本当は、「お塩」は人の健康の維持増進に欠かせない「食材」です。

## お塩の情報 + $\alpha$

- ・明治 38 年(1905 年)に塩の専売制度が始まった
- ・昭和 24 年に政府の管理下に置かれ塩の生産や流通が専売制度となった
- ・昭和 46 年(1971 年)、法律で従来の塩田製法が廃止された
- ・旧専売公社製は塩化ナトリウム高純度精製(99.99%)
- ・昭和 30 年代以降生活習慣病(脳や心臓病)が増えた
- ・最近ではガンが死亡原因のトップ
- ・平成 9 年(1997 年)に 92 年間続いた塩専売制度は廃止され塩売買が自由化
- ・「伝統的海水塩」は約 60 種類のミネラルをバランスよく含む
- ・自動車 = ガソリン + エンジンオイル + バッテリー

- ・人間＝ごはん＋ミネラル＋元気(生命力)
- ・水・エンジンオイル不足＝オーバーヒート
- ・水・ミネラル不足＝「熱中症」
- ・命の源の「塩」＝快食・快便・快眠＝気力・体力・精神力の強化
- ・運動器系の痛みや内科系の病気予防
- ・「塩」＝「一番安価な健康食品」・「安全無害」・「万人に効果あり」

以上のように、常々患者さんに「お塩の話」をさせていただいております。  
皆さんもぜひお試しくださいようお勧め致します。

平成 30 年 12 月 18 日

はまなす鍼灸治療院 佐藤 明